

1 月 登米市部長等連絡調整会議 要旨

日 時 令和6年1月5日（金）
午前10時00分から
場 所 中田保健福祉会館 研修室

1 登米市燃料券の配布について

■資料1に基づき説明

エネルギーや食料品などの価格が高騰し、市民生活に大きな影響を及ぼしていることから、市民の経済的な負担を軽減するため、市内取扱店舗で使用できる登米市燃料券を全市民に配布する。

燃料券は、市民1人当たり3,000円分で、1,000円券の3枚で1セットとし、灯油、ガソリン、軽油が購入できる。

1月下旬からゆうパックで送付を開始し、2月中旬までには市内全世帯への配布を完了する見込み。

利用期間は2月15日から5月31日までで、登録された市内取扱店舗約60店舗で使用可能。

2 登米懐古館企画展の開催について

■資料2に基づき説明

企画展は「旅して広重、奇才北斎、どきどき歌麿。」と題し、昭和30年から40年代に復刻された「歌川広重」「葛飾北斎」「喜多川歌麿」の浮世絵を展示するもの。

一部期間を除き、令和6年1月5日から3月10日まで登米懐古館で展示する。

3 令和6年1月招集議会での豊里小・中学校児童による登米市市民歌斉唱について

■資料3に基づき説明

市民歌についてさらなる普及を図るとともに、招集議会の開会に当たって、議会として新たな気持ちで取り組むため、市内の小中学生に市民課を斉唱してもらう。

今年は、豊里小・中学校の4年生による斉唱を予定。

4 第16回子どもたちが考える登米市の未来新聞コンクール作品展示について

■資料4に基づき説明

次世代のまちづくりの担い手である子供たちに、生まれ育った登米市の魅力を再発見しながら、地域を愛する心を養い、まちづくりに興味を持ってもらうことを目的に実施する。

今年度の作品テーマは、各学校またはグループごとに自由に考え設定していただき、すべての人にとって暮らしやすいと思える未来の登米市の姿を創造し作成いただいた。

小学校5年生部門に3校から30点、小学校6年生部門に12校から52点の応募があり、小学校5年生部門、6年生部門それぞれ、最優秀賞を1点、優秀賞2点、審査員特別賞1点に対して表彰を行う。

入賞作品は、1月22日から市役所中田庁舎や南方庁舎、JAみやぎ登米本店で展示する。

2月2日から2月18日まで、イオンタウン佐沼店内に応募のあった全作品を展示した後、再度、入賞作品のみを迫庁舎にて2月22日まで展示する。

5 令和5年度登米市文化財防火デー防災訓練の開催について

■資料5に基づき説明

昭和24年1月26日に、奈良の法隆寺の金堂壁画が消失した火災を契機として、昭和30年代からこの日を文化財防火デーと定め、全国的に文化財の防火運動を展開している。

本市においても、中田町上沼の弥勒寺を会場として、地域住民、自主防災組織、関係機関約100名で、訓練を実施する。

訓練のほか、弥勒寺の住職による文化財講話も予定している。

6 第12回人と野生動植物の共生を考えるつどいの開催について

■資料6に基づき説明

本市の豊かで美しい自然環境や生物多様性の将来にわたる保全、人と自然が共生する地域づくりについて考える機会とすることを目的に、第12回人と野生動植物の共生を考える集いを、令和6年2月10日に迫公民館軽運動場で開催する。

今回の集いでは、生物多様性の保全や二酸化炭素の吸収減としても重要となっている森林をテーマに森林と気候変動の関係や、植物の生態系などについて、NHK朝の連続テレビ小説おかえりモネの林業考証も担当した登米町森林組合の竹中雅治氏と、南三陸町で山林の魅力発信や新たな山の資源活用に取り組んでいる株式会社佐久の大淵香菜子氏の2名の講師から講演をいただく。

7 登米市ネーミングライツ事業の第2回募集について

■資料7に基づき説明

今回募集を行う施設については、登米祝祭劇場など全9施設を対象として、令和5年12月27日から募集を開始している。

最低命名権料については、登米祝祭劇場が年額100万円、登米総合体育館及び中田

総合体育館が年額 60 万円、東和総合運動公園が年額 50 万円、平筒沼ふれあい公園が年額 40 万円、その他の施設が年額 20 万円としている。

登米祝祭劇場、登米総合体育館、中田総合体育館、平筒沼ふれあい公園管理棟については、既存愛称を活用し命名することを留意点としている。

なお、市が選定した施設等以外について、事業者から愛称を提案できる提案募集型は随時募集をしている。